

ひゅーまん ねつとわーく

地域に生きる

2012年4月 発行 / 第49号

社会福祉法人北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル402 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



レジデンス なさはら入居者の様子

上左写真：西原 良寛さん(2番館)

上右写真：加藤 徹さん(2番館)

下左写真：豊澤 徳子さん(1番館)

下右写真：木下真己朗さん(3番館)

第3次中期計画(平成24年4月~平成29年3月)策定方針

—「信頼され尊敬される法人」を確たるものに—
(かけがえのない法人を目指して)



社会福祉法人北摂杉の子会

理事長 ^{なか}中 ^{むら}村 ^{せつ}節 ^し史

○当法人を取り巻く経済・社会の動向

今後の中期的な世界及び我が国の状況は全く不透明で、世界的恐慌もありうる厳しい状況である。障がい福祉の世界もその影響は受けざるを得ないと想定すべきである。

かつ、グローバル化の流れの中で、規制緩和も進み、数少ない内需型成長分野の障がい福祉分野にも民間も含め新たな参入と競争が生まれると思われる。

その中で、平成25年度に障害者自立支援法にかわり制定される障害者総合支援法についても過大な期待はすべき状況にはないと思われる。

○当法人のスタンス

5年後の経済・社会の姿を正確に予測できる人は皆無である。そのためどのような状況にも、スピーディで柔軟に対応できる力を法人として持っていることが不可欠である。

我々は今までの活動の中から培った体制・体質をベースに「更なる質の磨き上げ」しかも「すべての面での質の磨き上げ」を進めることによって、周囲から信頼され、持続的発展が可能な法人としての姿を作り上げなければならない。

○3つの力

「質の磨き上げ」を進めるうえで次の3つの力の向上を目指したい。

①「現場力」 ②「突破力」 ③「提案力」の3つである。

○中期計画の区分

中期計画を前半の2年と後半の3年に区分し、前半部分は懸案事項の実現と新たな挑戦への準備期間とし、計画はできるだけ具体的、定量的に策定する。

後半部分については新たな挑戦(ありたい姿)の実現可能な事項を策定するが、先行き不透明(制度の改訂を含め)な時代のため、2年後には中期計画の見直しを行うものとする。

中期事業方針

- 1 今後の資金需要の増加並びに借入運転資金完済に備え、**財務内容の強化**を推進する。ご家族からの運転資金融資分については計画通り完済する。
- 2 利用者の生活環境、職員の**職場環境の改善**を計画的、着実に進める。
 - ①萩の杜の建物、設備メンテナンス、バリアフリー化の計画的実施と衣料保管用倉庫の確保
 - ②ジョブサイトひむろ施設の移設とそれに伴うサービス機能の見直し
(3年後を目途に検討を進める)
 - ③ケアホームみやたの環境改善の検討
- 3 今後の事業の方向性に対応した**法人の体制整備**を進める。
 - ①法人の事業の現在の姿に対応し、今中期計画で更に進展する事業の「地域一般化」と「広域特化」に対応する「望ましい法人組織」の検討を進める。
(前半の2年で検討し3年目より実施を目途とする)
 - ②職員の専門性、現場での支援スキルの重要度が益々増すことや社会環境の変化に対応するため、職員の処遇（専門職制度など）や給与体系の見直しを進める。
(前半の2年で検討し3年目から実施を目途にする)
 - ③職員が主体的、積極的に支援力（現場支援力と専門的な力）の向上に取り組めるように、研修制度や人事考課制度を更に充実させる。
- 4 利用者の高齢化・障がいの重度化対応のうち「**医療との連携**」を法人全体として、その実現に邁進する。
ご利用者・ご家族、職員からのニーズに応えるために、真野先生とともに、法人、家族会が一体になって「杉の子会にふさわしい医療との連携の形」を実現する。
- 5 発達障がい児・者支援については利用者の**生涯にわたる一貫した支援の体制を強化**するため、23年度取り組んだ活動を更に強化、進化させる取り組みを続ける。
ニーズの増大に対応する制度設計がきちんとされるように、行政（国、大阪府、地方自治体）、同業、当事者組織に積極的に提案をしていく。
- 6 新規ケアホーム**第2次計画**の取り組みを開始する
2年間にご利用者のニーズ調査、建設用地の選択を完了する。
- 7 北摂杉の子会の**独自製品（ガレット、コロッケ、陶器）**の強化による授産事業の拡大と工賃の改善
販売ルートの拡大と生産拠点の検討
- 8 法人の社会的責任
法令順守の徹底、危機管理大綱の整備、各種マニュアルの整備を進める活動に加え、**人権擁護**（利用者の虐待防止の仕組みの構築、成年後見制度活用の仕組みなど）に向けた取り組みにも力を注ぐ。

平成24年度 社会福祉法人北摂杉の子会年度方針

○第3次中期計画の初年度として、法人の原点である「地域に生きる」の実践を更に確かなものにするため、喫緊の課題の解決と中期計画に掲げた新たな挑戦課題への取り組みを着実にスタートさせる。

○どのような状況にもスピーディで柔軟に対応できる体質の確立のため、法人全体として、「全てにわたる質の磨き上げ」を進めるが、そのために特に ①「現場力」 ②「突破力」 ③「提案力」の3つの力の向上を目指す。

1. 新規ケアホームの安定した運営

4月に開設した新ケアホーム「レジデンスなさはら」を入居者やご家族にとって安全・安心で快適な住居とするために、まずスムーズな立ち上げに注力し、日常的諸課題を着実に解決していくことにより、安定した運営の早期実現を目指す。

2. 「医療との連携」の推進

利用者、ご家族、職員からのニーズに応えるために、真野先生とともに、法人、家族会が一体になって「北摂杉の子会にふさわしい医療との連携の形」を作り上げる活動をスタートする。

3. 発達障がい児療育支援事業の強化

大阪府から各自治体への事業の移管の過程のなか、今までの活動の維持・強化を図ると共に、増大するニーズに対し、発達障がい支援の先進的取り組みを進めてきた法人として積極的な提案と体制づくりを進めていく。

4. 施設整備に向けた活動の開始

利用者の生活環境、職員の職場環境改善のため、施設、設備の整備活動を進める。
具体的には萩の杜のメンテナンス、バリアフリー化、ジョブサイトひむろの移設検

討、ケアホームみやたの環境改善、ジョブジョイントおおさかの移転検討など。

5. 法人の事業の再編とそれに伴う法人の組織改編の検討開始

当法人の事業規模の拡大と業態の変化に対応して、現在の高槻地区と十三地区にある事業群をその特徴に合わせて再編し、「地域一般化」「広域特化」を更に明確にすると同時に各事業所の役割の再見直しも検討する。24年度、25年度でその検討を進める。

6. 財務体質の強化

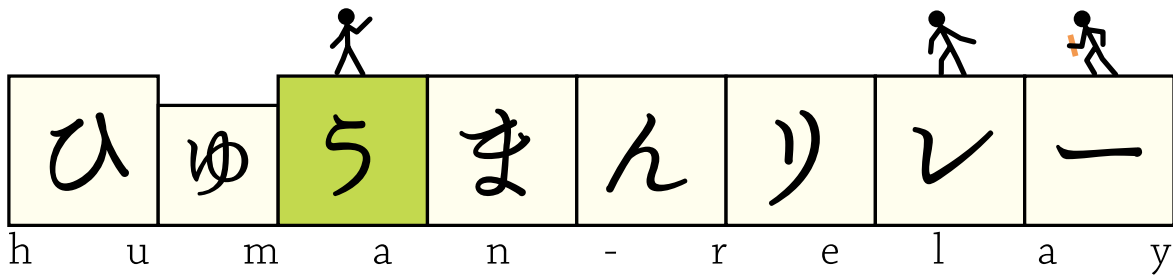
借入運転資金を計画通り返済し、今後の資金需要の増大に備えるため、収益体質の強化をはかり、キャッシュフローを更に改善する。

7. 授産事業の強化

利用者工賃の改善のため、当法人独自製品（コロッケ、ガレット、陶器）の販売強化と生産拠点の検討を進める。

8. 法人の社会的責任の取り組み

危機管理大綱の整備、各種マニュアルの整備に加え利用者の人権擁護（利用者の虐待防止の仕組み、成年後見制度など）の取り組みに力を入れる。



滋慶医療科学大学院大学 助教 おか 岡 こうへい 耕平さんより

誰もが働きやすい社会を目指して

私は大学で障害のある人の就労や学習の支援について研究しています。これまで十数年、障害のある人のさまざまな活動支援に関わってきました。ガイドヘルパーという言葉がなかった頃から知的障害のある子どもたちと一緒に活動したり、作業所に毎週通って一緒に作業をしたりしてきました。そういう活動を通じて知り合った、知的障害のあるお子さんのいるお母さんの一言が私の研究の原点になっています。「支援学校出てからの受け皿がないねん。私、安心して死なれへん。自分の子どもより一日だけ長生きしたいねん」。これを聞いたとき、社会を何とかしなきゃいけないと思いました。

● 障害のある人が働くことの障害

日本国憲法第22条で職業選択の自由が認められていますが、障害のある人にとって職業の選択は自由ではないように思います。まず障害者雇用という制度ですが、障害者雇用枠で就労できる人たちが自由に職を選べる状況にないという問題があります。それから、障害者手帳を持っている人しか事実上の対象にならないという問題があります。例えば手帳のない発達障害のある人(2011年8月5日の法改正で精神障害者手帳の取得が認められていますが)や難病で働けない人は手帳がない限り対象にならないわけです。もちろん普通の入社試験を受けることはできますが、難しいと感じている人が

ほとんどです。さらにこの制度では、原則週30時間の勤務が求められます(週20時間の短時間雇用もありますが)。安定して勤務することが難しい人にとっては、ここがハードルになります。障害者雇用での一般就労が難しい人は、事実上就労継続支援事業所を利用するといった福祉的就労しか選択肢がありません。福祉的就労であれば支援をより受けやすくなりますが、働いてもほとんどお金が手に入らないというのが現状です。仕事の内容が物足りないと感じる人たちもいます。

障害者雇用枠での一般就労か福祉的就労か、という二者択一が現在の状況ですが、第3の選択肢を希望する人たちは多くいます。最近、私

自身は「超短時間就労」という多様な働き方を提供するための研究をしています。厚生労働省によると障害者雇用について企業が最も問題と考えているのは「社内に適切な仕事がない」ことだそうです。本当でしょうか？多くの企業関係者に「障害者雇用は大事だと思いますか」と尋ねるとほとんど全ての人が大変だと答えます。でも「明日から障害のある方を一人雇ってもらえませんか」とお願いすると、ほとんどの人が「それはちょっと…」とお茶を濁します。ところがそういう人たちに「週に1時間だけ時給を払って皆さんのお仕事の一部を提供してくれませんか？」という、それならできるとい人が多いのです。つまり仕事はあるのですね。こういう人を30人集めれば週に30時間の仕事が生まれます。私自身は1人を週30時間雇用するのではなく、30人を週に1時間ずつ雇用するやり方があっていいのではないかと考えています。自分の働ける時間で自分の働ける仕事をして、その分の対価を得る。こういう働き方ができる仕組みを作るのが私の行う「超短時間就労」の研究です。

●人を環境に合わせることから環境を人に合わせる価値観へ

障害のある人だけでなく、高齢者や子育て中の人も含めると、今の就労システムの中では働きにくい人は多いと思います。なぜかという

と、社会のルールというのがまずあって、そこに当てはまらない人は除外されるというシステムだからです。誰もが働ける社会というのはその逆で、ルールや環境を人に合わせる社会です。しかし残念なことに現在の就労支援のシステムの多くはそうになっていません。誤解を恐れずにいうと、人を環境に合わせる訓練の場となっています。訓練は悪いことではありませんが、訓練してもどうにもできないこともあります。だから障害なわけです。できないことをできるようにするには、できなくてもうまくいく方法に変えてしまうか、別の方法(例えばテクノロジー)を使ってできるようにすればいいのです(詳細を知りたい方は私の成果のひとつである『テクノロジーを活用した発達障害の就労マニュアル(<http://at2ed.jp/download/job.pdf>)』をダウンロードしてご覧ください)。そうやって就労のルールや環境を調整し、働くことができるスタートラインに立ってから努力が求められるべきでしょう。いろんな人がいろんな働き方でいろんな仕事をしながら同じ目標に向かって協力し合う組織。こういう組織であれば障害のある人も能力を発揮できるはず。こういう組織作りは成果、効率、評価、管理等のクリアすべき問題も多くて難しいのですが、あればきっと楽しいでしょう。こういった問題の向こう側に「人間らしい労働(ディーセントワーク)』があるように思います。



地域における包括的支援体制の構築をめざして

～地域連携を考えて～



株式会社 インサイト 代表取締役

せき はら ふかし
関 原 深 さんより

株式会社インサイトは「笑顔を作る仕事をしよう」を経営理念とし、現在は、障害者福祉事業所様へのマーケティング・経営コンサルティング、および、民間企業様への障害者雇用促進に関するコンサルティングを実施しています。個人的には、5年前に、中村理事長・松上常務理事とお食事しながら、この業界に触れたことがきっかけとなり、起業に至っているという関係で、本当に感謝致しております。

お陰様で、北摂杉の子会様とは、永きに渡りお付き合いさせて頂いています。最初は平成18年。厚生労働省の研究事業である、自閉症・発達障害を持つ方々の高付加価値職域開発でした。そこからの派生で、翌年には山口学園（ECC）様や大阪大学との連携による高付加価値職域実践や、よどのコロッケ事業の立ち上げ、店舗開業等をお手伝いさせて頂きました。一昨年は強度行動障害を持つ方の暮らしのあり方として、ケアホームの先進事例研究のためノースカロライナへ一緒に海外出張もさせて頂きました。と言うわけで、ほぼ毎年、何らかの形でご一緒させて頂いております。

本年度は、発達障害を持つ、ないしはボーダーの大学生が就職できないという点に問題意識を感じているので、各大学のキャリアセンターと連携し、スムーズに就職できるような仕組み作りを共同研究という形でご一緒させて頂いております。年末に共同開催させて頂いた、大学キャリアセンター向けの研修会もすぐに満員御礼となり、かなり強いニーズや想いがあると確信しました。一人でも多くの方々に、よりよい就職をして頂けるように準備を進めて行きたいと考えています。

昨年末に、よどのコロッケで働くKさんがNHKの「きらっといきる」で放送されたのを見て、当初より皆様が願っておられた地域共生の拠点となった店舗と、そこで働くご本人さん達が伸び伸びと生活されている姿を改めて拝見し、あたたかい気持ちになりました。「そうそう、まさにこれだよ」という、自然な形での地域生活。この大阪市十三での丁寧な実践を重ねて頂きながら、こういったノーマルな感じが全国に広がっていけばいいなあと感じています。



社会福祉法人友遊福祉会 友遊の里

施設長 ^{いわ}岩 ^{がき}垣 ^{けい}敬 ^{すけ}介 さんより

この号が発行される4月には東日本大震災の発生から1年を経過し、改めて多くの犠牲者のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を願っています。

先月、高槻市との間で災害発生時における二次避難所の開設及び運営に関する協定書を締結し、今後、要援護者に対する福祉避難所として、備蓄品の整備、体制の整備、地域との連携等について、努めてまいります。

阪神大震災から今年で17年、弊施設も平成14年4月に開所し10年目になろうとしています。障害福祉施策も措置制度～支援費制度～障害者自立支援法と変遷し、民主党は今国会で「障害者総合支援法」として法案を提出し、来年4月からの施行を目指しています。

開所から制度変更で振り回された感が強いが、障がいをお持ちの利用者の皆さんにとっては良い意味でも悪い意味（実態は障害者自立支援法の一部改正に近い）でも前進しているのでしょう…。

友遊の里は、知的障害者育成会高槻手をつなぐ親の会の会員有志により、平成9年「認可通所施設をつくる会」を発足、平成13年6月に「通所授産施設建設国庫補助」内示を受け、平成14年4月に社会福祉法人友遊福祉会が「通所授産施設・友遊の里」を定員50名の施設として、自然に恵まれた長閑な環境にある高槻市田能に開所しました。もともとこの地に無認可作業所「友遊の里」を開設（平成4年）していたことと、自然環境のなかでの農作業を主にした活動を行い、地元住民との交流も広がっていたこともあり、この地に開所しました。開所当初のスローガン「私たちはそれぞれの能力・適正にあった仕事に取り組みます」・「少し難しいかなと思うことにも頑張って挑戦したいのです!」と利用者も職員も若く、張り切って頑張ってきました。

平成20年10月1日に障害者自立支援法の下、指定障害福祉サービス事業の「生活介護」事業所として事業移行し、生産活動の提供として、農工（農作業・椎茸栽培・木工）、アルミリサイクル・製菓・紙漉き・さをり織りの各事業に取り組んでいます。

利用者支援においては、自主、自立、個々の尊厳を柱とし、利用者支援に職員一同取り組むなかで、毎週1回実務者会議（支援員）、職員のスキルアップを図る為、外部研修会受講、施設内研修として、他施設（ジョブサイトひむろ、サニースポット）の施設長等を招聘し研修を実施、他施設の職員との合同研修会等の実施等により、利用者支援及び職員個々の資質向上に日々注力しております。

施設と地域の関わりにおいても、1回/年「友遊まつり」、榎田小学校との交流会、榎田地区コミュニティハイキング等を通じた地元住民との交流にも積極的に取り組んでいます。



ケアホーム『レジデンスなさはら』開設のご報告

レジデンスなさはら

管理者 平野 貴久

平成24年4月1日、新ケアホーム「レジデンスなさはら」（建設地：高槻市奈佐原）がオープンいたしました。

「1番館」（女性ホーム：7名）、「2番館」（男性ホーム：7名）、「3番館」（男性ホーム：6名）の計3棟：20名のご利用者の皆さんが、ホームの玄関にご自分の表札を掲げ、地域の一員としての新生活をスタートされることになりました。

また、3月20日には竣工式をとりおこない、多数の関係各位にご臨席を賜り、多くの方々のご期待をいただくなかで、無事スタートを切ることができましたことを、本当にありがとうございました。

「レジデンスなさはら」は、主として「ジョブサイトひむろ」（生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型事業）に通所されているご利用者の将来の暮らしの場として計画してまいりました。

特に重度の知的障がいのある方、自閉症で行動上の課題のあるご利用者が入居されています。

当初から入居を希望されているご利用者の



大半の方が明確でしたので、株式会社ニ井清治建築研究所様には、障害特性とニーズに合わせたレイアウトや設計をしていただきました。

温かい木目を活かした優しい建物でありながら、一方で全館スプリンクラー付きで床暖房等のハイテク設備が融合しています。

また細部にわたりご利用者が安全かつ快適に過ごしていただけるような配慮があり、支援スタッフにとってもご利用者の生活を把握しやすいきめ細やかな作りとなっています。

各居室については、早期に部屋割りを決定し、内装のオプションとして、カーテンの色





柄や斜光の程度、壁についてはクロスの色柄、防音設備の有無、部屋に設置するクロゼットのタイプ、スイッチのリモコン化まで、「個別」に配慮した設備を導入しています。

ご利用者のご家族と個別に面談され、それぞれのご要望に丁寧に応えていただきました株式会社ニ井清治建築研究所のニ井清治所長、ニ井り子副所長、法人からの難しい注文に対し、立派な仕事を完遂され、素晴らしいホームを建設下さった株式会社安部工務店の皆さまには心からお礼を申し上げます。

開設を迎えるまでには、多くの困難があり、発想から6年、実質的なプロジェクトが動き出してから4年間に経過いたしました。特に土地の確保については、候補地が二転三転し、2年以上を費やしました。

しかし、ご家族の「ご利用者の将来の暮らしの場の実現」という“熱い想い”と当法人の「地域に生きる」の理念の具現化という“強い

想い”が結実し、多くのハードルを乗り越えられたことを実感いたします。

また多くの関係機関の皆さまからご支援ご協力を賜わったことも、開設までの大きな後押しとなりました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

レジデンスなさはらは主役であるご利用者の皆さんにとって、新しい「家」となります。ご本人の意向を尊重し、快適で素敵な当たり前の暮らしを営むことが出来ますよう努力していく所存です。

入居されるご利用者の今後の生活が素敵なものになりますよう、地域の皆さまや関係機関の皆さまには応援の程、よろしく願い申し上げます。



発達障がい者支援センター事業創設10周年記念 発達障がいセミナーを終えて



大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

センター長 新澤 伸子

平成24年1月21日に「発達障がい者支援センター事業創設10周年記念発達障がいセミナー」を、当法人主催にて開催いたしました。発達障がい者支援センター事業が創設されて10年目を迎えるにあたり、発達障がい者支援体制のこれまでを振り返り、今後の支援の方向性について考え、共有することを目的として開催いたしました。



第1部ではパネラー報告として、厚生労働省発達障害対策専門官の小林真理子氏、滋賀県発達障害者支援センターいぶきセンター長の井深允子氏、大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさかの新澤が、それぞれの立場からこれまでの取り組みと今後の課題について報告しました。次に第2部では、元厚生労働省障害福祉専門官で発達障がい者支援センター事業、発達障害者支援法の制定に貢献され、現在は上智大学総合人間科学部社会福祉学科教授の大塚晃先生にコーディネーターをお引き受けいただき、第1部のパネラーを交えて「発達障がい者支援の今後に向けて」のパネルディスカッションを行いました。

まず、厚生労働省の小林専門官からは、発達障害に関する法律制度の変遷について説明があり、①当事者・家族支援の課題 ②支援者の役割と課題 ③今後の対応の方向性について、発達障害者施策検討会報告書に基づく報告がありました。発達障害者支援センターの

役割として、専門的なアセスメントやモニタリングを行う機関として位置づけを明確化し、直接処遇職員へのバックアップ体制を整備していくという方向性が提示されました。そのために、都道府県は圏域内の実態把握や評価、支援システム作り、広域で行うことが必要な専門的な支援や人材育成を担い、市町村は、基幹相談支援センターを核に、自立支援協議会を活性化し、市町村における相談支援体制の強化を図るという役割分担し、支援体制を整備していくという方向性が示されました。

次に、開設10年目の滋賀県発達障害者支援センターいぶきの井深センター長からは、いぶきの基本的な視点である ①自閉症・発達障害の正しい理解 ②一貫性のある支援システムの構築（包括的かつ移行システムを有する）のもとに取り組みられてきた事業報告がありました。とりわけ、滋賀県は支援システムの基盤整備が進んでおり、一次支援機関としての市町発達支援室・発達支援センター（現在12市町）、二次支援機関として7つの福祉圏域に整備された地域生活支援センター、就業・生活支援センター、三次支援機関としての県発達障害者支援センターという位置づけが明確化されている印象を受けました。平成19年度から県が5カ年計画で、「発達障害者支援キーパーソン養成事業」をいぶきに委託して、福祉圏域の地域生活支援センターの職員を対象にした人材育成プログラムの紹介がありました。



また、家族との協働として、家族対象の学習会、余暇支援、ペアレントメンター養成事業についても報告がありました。

次に、同じく開設10周年を迎える大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさかセンター長の新澤から、アクトおおさかの事業展開の基本的な考え方である ①発達障がいの特性に合わせた支援ソフトの共有、②生涯にわたる一貫性と継続性のある支援システムの構築のもとに取り組んできた事業内容について、大阪府の発達障がい者支援体制の整備状況と関連させながら報告いたしました。大阪府では、6福祉圏域に1か所ずつ発達障がい療育拠点整備が整備され、早期の療育支援体制は先進的に進められてきましたが、成人期の高機能の発達障がいのある本人・家族への支援、とりわけ、診断できる医療機関の確保とそれを支える仕組みづくり、日中活動や就労準備支援の受け皿の育成、相談支援体制の整備が今後の課題であることを提言しました。



続くパネルディスカッションでは、大塚先生から、「発達障害に特化したサービスは現状では不足しており、今後も人材育成や支援のノウハウはさらに拡大が必要である。今後、障害者基本法の改正に含まれたように、すべての支援は「意思決定の支援」のもとに再構築すべきであろう。とりわけ、意思決定が困難な人たちの意思決定の支援を再考すべきである。」といった趣旨のコメントがなされました。続いて、①今の発達障害者支援に足りないものは？②発達障害者支援センターの専門機能、役割とは何か？③今後、取り組んでいきたいことは？といった投げかけがなされました。①については、国の立場からは、支援

のガイドラインの整備が必要である、支援センターの立場からは、当事者・家族からのフィー



ドバック、長期的にみた支援の効果のモニタリングが必要との提言がなされました。②については、国の立場からは、支援センターに求められことは、ネットワークや支援システム作りの専門性と、直接支援を支えるための専門性を合わせ持つことが必要。支援センターの立場からは、現場感覚をもった専門性、発達障害の視点からのアセスメントや見立て、すべてのライフステージにわたる視点をもった支援というコメントがなされました。③については、国の立場からは、発達障害者支援のガイドラインづくり、支援センターの立場からは、支援者の発達障害への理解をさらに広めていくこと、発達障害に特化した具体的なサービスを造りだしていくこと、といった提言がなされました。

参加者からのアンケートでも、パネルディスカッションでの大塚先生の問題の投げかけに対して、一人ひとりが自分だったらどう考えるかを自問しながら参加されていた様子が見え、うかがえました。今後の支援に必要な視点、キーワードが得られたという感想や、市町村の立場、当事者・家族の立場からのコメントもあればよかったという感想も寄せられました。

最後になりましたが、後援いただいた大阪府、大阪府教育委員会の関係者の皆様、そして会場に足を運んでくださった来賓ならびに多くの皆様に厚く御礼申し上げます。アクトおおさかの10年を振り返り、今後の目標を見据えるよい機会を与えていただいたことに、感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成23年12月～平成24年2月)

北摂杉の子会のホームページ (<http://www.suginokokai.com>) では、様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。

過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。

ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。

ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスしてご覧ください！

掲載ページ	内 容
法人のご案内	事業所一覧更新
各施設のご案内	an新聞・will新聞・Link新聞掲載
	児童デイサービスセンターan 平成24年度 募集説明会のご案内
	大阪自閉症支援センター情報更新
	各施設ご案内トップページ更新
松上利男の一言	自閉症療育センターwill 平成24年度新規療育児募集のお知らせ
	第51回 制度の活用と支援サービスの創造
	第52回 もし福祉事業所の職員がドラッカーの『マネジメント』を読んだら (1)
お知らせ	第53回 もし福祉事業所の職員がドラッカーの『マネジメント』を読んだら (2)
	「医務だより」冬号が発行
	NHK・Eテレ「きらっといきる」にジョブサイトよどの木下堅太さんが出演
	ガレット催事日程の変更
	自閉症療育センターLink 募集説明会
イベント・講座案内	自閉症療育センターwill 募集説明会
	世界自閉症開発デー 自閉症の人が見ている世界 ～自閉症の人を正しく理解する～
機 関 誌	48号掲載
よどのコロッケ	クリスマスパーティーセット販売
	新商品登場の予告
	しゃけコロッケ期間限定販売
Café Be	ランチメニュー更新
	CafeBe ミュージック・ディ情報更新

掲示板コーナー

(平成23年12月から平成24年2月まで)

法人本部総務部掲示板

12月	行 事
12日	経営会議
15日	後援会役員会
16日	運営会議
20日	自閉症啓発デー会議
21日	総務会議
26日	高槻市法人監査
29日～ 1月3日	冬期休業

1月	行 事
10日	経営会議
14日	採用者対象法人説明会 会場 JAたかつき本店ビル会議室 豊穰の間
21日	アクト10周年記念事業 発達障がいセミナー 会場 ドーンセンター
24日	自閉症啓発デー会議
25日	総務会議
27日	運営会議
28日	平成24年度採用筆記試験 会場 高槻市立生涯学習センター 研修室

2月	行 事
4日	第3回法人研修 会場 高槻現代劇場 集会室402号 全体研修 「施設における虐待防止体制の整備について」 講師 松上利男 常務理事 分科会1 「問題解決の仕方」(初任者) ～自ら考え、自ら行動するための問題解決の仕方～ 講師 本田英世 理事 分科会2 「スーパービジョン」(中堅) 講師 ジョブサイトひむろ 平野 施設長 分科会3 「私たちが目指すものに向けて」 (役職者) 講師 萩の杜 勝部 施設長 萩の杜 木戸 副施設長
6日	経営会議
7日	自閉症啓発デー実行委員会

2月	行 事
19日	第78回理事会・第43回評議員会 会場 高槻現代劇場 306号室 決議事項 第1号議案 理事と監事選任の件 第2号議案 理事長、副理事長、常務理事選任の件 第3号議案 評議員選任の件 第4号議案 諸規則・規程類の新設、改正および廃止の件 第5号議案 ジョブサイトよど土地売買契約の件 第6号議案 ジョブサイトよど土地購入にかかる借入金の件 第7号議案 高槻市指導監査の件 第8号議案 レジデンスなさはら(旧(仮称)レジデンス「そら」、「にじ」、「さん」新ケアホーム)開設準備室室長人事の件
22日	総務会議
23日	自閉症啓発デー実行委員会
24日	運営会議
27日	障害者虐待防止対策研修会(高槻市委託研修) 「障害者虐待の理解と福祉事業所における虐待防止の取り組み」 開会挨拶 高槻市 副市長 倉橋隆男氏 講師 白梅学園大学 教授 堀江まゆみ氏 社会福祉法人京都ライフサポート協会 理事長 樋口幸雄氏 社会福祉法人北摂杉の子会 常務理事 松上利男 社会福祉法人北摂杉の子会 スーパーヴァイザー 中山清司
28日	レジデンスなさはら入居者説明会 (佐々木寛 記)



虐待防止研修会



法人研修

萩の杜 掲示板

【12月21日（水）AED使用講習】

後援会からご寄付をいただき、萩の杜にAEDを設置しました。設置に伴い、支援員対象のAED使用講習を開催しました。

後援会のみなさま、ありがとうございました。

※支援員は定期的に救急救命講習を受講しています。

みなさんに、より安心していただける施設づくりをこれからも目指していきます！



【1月21日（土）ふれっと作品展】

昨年度に引き続き、今年度も“ふれっと作品展”を開催いたしました。当日は、あいにくのお天気でしたが、法人内外から30名を超える方にご来場いただきました。来年度も開催する予定にしておりますので、みなさまお楽しみに♪



〈作品展展示品〉



〈作品制作中の様子〉

【2月末日 花壇の植え替え準備】

先日、萩の杜前の花壇の植え替え準備を、ご家族の方がしてくださりました。四季折々のお花をいつもありがとうございます。職員一同いつも感謝しております。（作業中にお邪魔して、写真撮影させていただきました）



（勝部 記）

ジョブサイトひむろ掲示版

(12月～2月のレクリエーション・行事)

今回から、ジョブサイトひむろの掲示版については、掲載期間（今回はH23.12～H24.2）に実施した行事を中心に、ご利用者の様子をお写真にて掲示させていただきます。

ご利用者の皆さんの生き活きとした活動の様子をご覧ください



梅田のルクア前 12月8日



デゴイチ（京都祇園四条） 1月10日



せせらぎの里 12月15日



布施和生さんコンサート 1月9日



就労メンバー忘年会 12月23日



総合福祉フェア 2月21日

発達障害支援部掲示板

○大阪自閉症支援センター

保護者研修	フォローアップ講座 3回実施、自立課題講座 2回実施	
巡回相談	和泉市教育委員会 高槻市教育委員会 摂津市教育委員会 泉大津市教育委員会 豊能町教育委員会 大阪狭山市教育委員会	巡回相談 (幼稚園2回 小学校3回)、講座 1回 巡回相談 (小学校2回 中学校2回) 巡回相談 (幼稚園2回) 実践報告会 1回 巡回相談 (小学校1回) 巡回相談 (小学校1回) 巡回相談 (小学校1回)
講師派遣	大阪市立住之江支援学校 大阪府立たまがわ支援学校 大阪府立港高等学校 静岡市発達障害者支援センター 高井田苑 精神保健福祉士初任者研修会 NPO 法人発達障害をもつ大人の会	

○アクトおおさか

12月	行	事
5日	福祉教育連携事業リーディングスタッフ養成研修	泉北地区
6日	大阪府発達障害団体ネットワーク第2回ネットワーク会出席 (事務局)	
8日	地域支援体制サポート事業 (相談支援センターカーな実地研修)	
14日	地域支援体制サポート事業 (相談支援センターカーな訪問)	
15日	福祉教育連携事業移行支援モデル事業 (守口支援学校巡回相談)	
19日	施設コンサルテーション (地域活動支援センター菜の花)	
21日	大阪府発達障がい支援センター連絡協議会成人部会出席 泉佐野・田尻・熊取自立支援協議会出席	
26日	成人期家族グループ下期第2回実施	
27日	施設コンサルテーション (地域活動支援センターかけはし実地研修)	

1月	行	事
6日	発達障害者支援センター全国連絡協議会役員会、厚労省文科省懇談会出席	
7日	地域支援体制サポート事業 (熊取療育園実地研修)	
13日	施設コンサルテーション (相談支援センターカーな実地研修)	
14日	発達障害者支援センター近畿ブロック職員研修会	
16日	福祉教育連携事業リーディングスタッフ養成研修	泉北地区
18日	地域支援体制サポート事業 (熊取療育園実地研修)	
19日	大阪府発達障がい支援センター連絡協議会子ども部会出席	
21日	発達障がい者支援センター事業創設10周年記念発達障がいセミナー開催 (法人主催)	
30日	成人期家族グループ下期第3回 大阪府成人期相談機関連絡会 出席 (事務局)	

2月	行	事
8日	所内ケース会議 (スーパーバイザー 山下仰先生)	
10日	施設コンサルテーション実践報告会	
13日	福祉教育連携事業 移行支援モデル事業 (守口支援学校巡回相談)	
14日	成人期家族グループ下期 第2回実施	
20日	福祉教育連携事業リーディングスタッフ養成研修	泉北地区
24日	大阪府発達障害団体ネットワーク運営委員会出席 (事務局)	

(新澤 記)

発達障害児療育支援部掲示板

○児童デイサービスセンター an

12月	行	事
2日	保護者研修	入門
10日	施設見学会	
16日	保護者研修	実践

1月	行	事
13日	保護者研修	入門
20日	ケース検討会	
24日	平成24年度	新規療育児募集説明会
27日	保護者研修	実践

2月	行	事
4日	法人研修	
10日	保護者研修	入門
17日	平成24年度	新規療育児選考・決定通知ハガキ発送
24日	保護者研修	実践

○自閉症療育センター will

12月	行	事
7日	保護者研修	入門A
10日	施設見学会	
14日	保護者研修	入門B
17日	施設見学会	
21日	ケース検討会	
26日	発達障害児療育支援部	ウィンタープログラム

1月	行	事
11日	保護者研修	入門A
14日	施設見学会	
18日	保護者研修	入門B
25日	平成22年度	療育終了保護者 実践交流会

2月	行	事
1日	保護者研修	入門A
4日	法人研修	
8日	保護者研修	入門B
15日	ケース検討会	
25日	平成24年度	新規療育児募集説明会
29日	平成22年度	療育終了保護者 実践交流会

○自閉症療育センター Link

12月	行	事
1日	保護者研修	入門A
8日	保護者研修	入門B
22日	ケース検討会	

1月	行	事
12日	保護者研修	入門A
19日	保護者研修	入門B
26日	ケース検討会	

2月	行	事
4日	法人研修	
9日	保護者研修	入門A
16日	保護者研修	入門B
25日	平成24年度	新規療育児募集説明会

(谷岡 記)



療育の様子 おやつ時間



療育の様子 はさみの練習

ジョブサイトよど掲示板

12月	行 事
3日	職員研修「人権研修・障害者虐待防止法について」
9日	淀川区アクションプラン座談会
13日	エアロビクス（生活介護） スタッフ情報交換会
17日	土曜開所日（大谷美術館・参加者12名）
19日	施設見学会（参加者5名）
27日	エアロビクス（生活介護）
28日	慰労会

よどのコロッケでは、12月にクリスマスパーティーセットを販売しました。

1月	行 事
10日	エアロビクス（生活介護）／成人のお祝い
12日	避難訓練
24日	十三中学校の実習生受け入れ（～26日）
28日	土曜開所日（クッキング、カラオケ）
30日	施設見学会（参加者12名）

2月	行 事
8日	利用者健康診断
9日	歯科検診
17日	避難訓練（J3グループ）
21日	スタッフ情報交換会
27日	施設見学会（参加者12名）

よどのコロッケでは、2月に新作コロッケの「鮭コロッケ」を販売しました。

NHK「きらっといきる」1月20日の放送に、ご利用者の木下堅太さんが出演されました。



株式会社中央フードサービスさんから昼食バイキングへの招待を受けました。

1月17日～2月17日の期間で、7グループに分かれて参加



ふれいすBe 掲示板

12月	行 事
1～6日	テミルプロジェクトの催事でガレット販売（ららぽーと横浜）
2・9・16日	実習受入れ（社会福祉法人あいあい福祉会あいあい塾より1名）
10日	クリスマス会
13～15日	体験実習受入れ（高槻支援学校より生徒1名）
14日	AEDを設置（後援会寄付より）
21日	スタッフ向けのAED講習会
29日～ 1月3日	冬期休暇

見学：3件6名

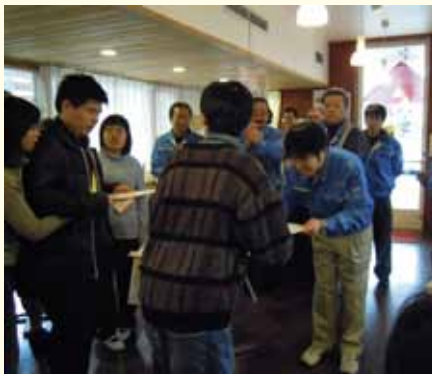
1月	行 事
11～17日	テミルプロジェクトの催事でガレット販売（松坂屋銀座店）
12日	建物検査を実施
13日	作業療法実習受入れ（藍野大学より学生2名）
13・27日	実習受入れ（社会福祉法人聖ヨハネ学園地域生活支援センター光より1名）
17日	成人式開催
19日	内部研修（知的精神生活介護、重身生活介護での取り組み）
21日	餅つき大会（ご協力：寺田軌道株式会社様）

見学：4件10名

2月	行 事
4～14日	テミルプロジェクトの催事でガレット販売（松坂屋上野店）
6～24日	作業療法実習受入れ（大阪保健医療大学より学生1名）
21日	ガレット販売（あんしんねっとあゆむ福祉フェア）
29日	テミルプロジェクトの催事でガレット販売（日本橋三越）

見学：4件10名

※訃報 平成24年1月19日にふれいすBe ご利用者 山崎琢仁様が肺炎のためお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りいたします。



寺田軌道様にお礼状を渡す



餅つき大会

ジョブジョイントおおさか掲示板

12月	行	事
1日		発達障害のある学生のための就労支援セミナー開催
16日		WOWGROUP、インサイト合同勉強会
17日		土曜開所日 「クリスマスランチde テーブルマナー」(ホテル阪急エキスポパーク)
27日		大掃除
28日		利用者忘年会

1月	行	事
10日		会社見学会 (株式会社JRあいウィル)
16~28日		個別支援計画懇談
28日		土曜開所日「土曜クラブ」

2月	行	事
8日		後期健康診断 (希望者)
9日		歯科検診 (希望者)
16日		会社見学会 (株式会社スミセイハーモニー)
27日		避難訓練 (後期)
29日		ドラフト会議

(高橋 記)

ジョブジョイントおおさか忘年会の様子 (チーム対抗 すごろくゲーム!を行いました)



チームのリーダーが順番をくじ引き



チームで協力して、
ゴールを目指しました!



特技披露では、サックス演奏



すごろくは、土曜クラブの
思考部の手作りです



チームで作戦タイム



AKB48のフライングゲットをダンス部が披露

萩の杜家族会掲示板

12月	行 事
11日	イオンイエローレシートキャンペーン活動
26日	安全対策委員会

1月	行 事
11日	イオンイエローレシートキャンペーン活動 4家族会会長懇談会
12日	広報部会 機関紙発送協力
22日	カトリック教会にて花の販売
26日	サークル萩開催 手作り品の作成と情報交換
27日	定例会、ホットトーク、役員会 <ul style="list-style-type: none"> 安全対策委員会報告 施設からの報告 次年度役員候補について 4家族会会長懇談会報告 各部会からの活動報告 他

2月	行 事
9日	母親親睦会
11日	イオンイエローレシートキャンペーン活動
19日	カトリック教会にて花の販売
23日	サークル萩開催 手作り品の作成と情報交換
27日	安全対策委員会

(飯塚 記)

ジョブサイトひむろ家族会掲示板

12月	行 事
12日	第3回家族会定例会（市民会館：出席者37名 欠席者18名） <ul style="list-style-type: none"> ジョブサイトひむろからの報告 法人からの報告 ケアホーム進捗状況 バザー総括 家族会会費入金状況 役員改選について 真野先生の講演会について 寄付金控除制度について ケアホーム希望者の会（現代劇場）

1月	行 事
11日	4家族会会長懇談会（法人本部）
12日	広報委員会 機関紙第48号発送お手伝い（法人本部5名出席）
20日	第4回役員会（法人本部9名出席） <ul style="list-style-type: none"> 総会と懇親会について（4/16開催） 次回定例会について（2/13開催） 役員改選について 父親会について 家族会会費納入状況
28日	カフェ開所（カフェBe）

2月	行 事
13日	第4回定例会（市民会館：出席37名 欠席18名） <ul style="list-style-type: none"> ジョブサイトひむろからの報告 法人からの報告 ケアホームの進捗状況について 役員改選について 例年通り役員は全て立候補にて内定し、次期総会において承認予定 尚、下記の皆さんが立候補されました。 会長 豊澤 副会長 中川、林 会計 妹尾 事務局 平原、瀬戸、宮階、入江 会計監査 竹本 <ul style="list-style-type: none"> 父親会について（3/11新ケアホーム【レジデンスなさはら】見学会&懇親会） その他
18日	カフェコンサート（カフェBe）
28日	ケアホーム説明会（現代劇場）

(妹尾 記)

ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会掲示板

12月	行 事
5日	家族会役員会開催 100円喫茶実施
12日	オアシスサロンで100円喫茶実施
13日	十三市参加 12月例会開催（会員22名参加） 松上常務理事兼施設長、佐々木副施設長、高橋副施設長を交えて フリートークを開催
15日	オアシス役員会で100円喫茶実施

1月	行 事
11日	法人家族会懇親会（会長参加）
12日	オアシス役員会で100円喫茶実施
13日	十三市参加
16日	オアシスサロンで100円喫茶実施 家族会役員会で100円喫茶実施

2月	行 事
6日	オアシスサロンで100円喫茶実施 家族会役員会で100円喫茶実施
13日	十三市参加
19日	法人北摂杉の子会理事・評議員会（会長参加）
23日	オアシス見学会で100円喫茶実施
28日	北摂杉の子会スーパーバイザー中山氏をお招きして 自閉症支援についての勉強会 100円喫茶実施

（福田 記）



自閉症支援についての勉強会

ぶれいす Be 家族会掲示板

12月	行 事
3日	父親の会(場所:カフェBe)参加者11名 <ul style="list-style-type: none"> •それぞれご自身の自己紹介から始まり、子供さんの生い立ちなども和やかに語り合った。 •父親の会として初めての集まりだったが、これを機に2回、3回と回数をかさね、お互いの親睦を深め、その輪を広げていきたい。
8日	第2期第8回役員会(場所:ぶれいす Be会議室) <ul style="list-style-type: none"> •寄附手続きについて •次期役員公募について •「グループ別参観&ランチ」を終わって •「父親の会」を終わって •「地域に生きる」掲示板9~11月出稿について •下施設長より •その他 「法人への本年度の寄附手続きについての説明」の書類、配布 「来年度役員についてのアンケート」配布
15日	北摂杉の子会後援会臨時役員会 出席
26日	法人本部へ本年度の寄付金3,501,700円を振り込む

1月	行 事
11日	4家族会会長懇談会 出席
12日	第2期第9回役員会(場所:ぶれいす Be会議室) <ul style="list-style-type: none"> •寄附手続き完了について •「次期役員についてのアンケート」結果と候補者について •今期1~3月の活動について •下施設長より •その他

2月	行 事
9日	第2期第10回役員会(場所:ぶれいす Be会議室) <ul style="list-style-type: none"> •ショートステイ懇談会について •次期役員候補の内定について •第3期定期総会の日時決定について •下施設長より •その他 全会員にむけて3月5日開催の「ぶれいす Be ショートステイ事業との懇談会のお知らせ」を配布
19日	北摂杉の子会評議員会 出席

(本城 記)

大阪自閉症支援センターを発展させる会 オアシス掲示板

12月	行	事
6日	大阪府発達障害団体ネットワーク会	講演会（相談役、副会長出席）
11日	交流会（大阪市立本田小学校）	
12日	オアシスサロン	
15日	12月度役員会	

1月	行	事
12日	1月度役員会	
16日	オアシスサロン	
17日	オアシス保護者実践報告会（ドーンセンター）	
21日	発達障がい者支援センター事業創設10周年記念事業 発達障がいセミナー（相談役出席）	
24日	平成24年度an療育児募集説明会（会長、副会長出席）	
29日	就労体験	

2月	行	事
5日	調理実習	
6日	オアシスサロン	
14日	谷岡先生を囲んで座談会	
19日	2月度役員会、北摂杉の子会理事評議員会（相談役出席）	
23日	施設見学（ジョブサイトよど、ジョブジョイントおおさか）	
24日	大阪府発達障がい団体ネットワーク会（副会長出席）	
29日	ホットメールなにわ会合（相談役、副会長出席）	

（前野 記）

北摂杉の子会後援会掲示板

本会の活動に対し、萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど・ジョブジョイントおおさか、ふれいすBeの家族会を含む多くの方々のご支援をいただき、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます

<近況報告>

12月

個人会員：529名、団体会員：12団体

合計：541名／団体

寄付：1件

1月

個人会員：530名、団体会員：12団体

合計：542名／団体 寄付：1件

2月

個人会員：530名、団体会員：13団体

合計：543名／団体 寄付：3件

<その他>

平成23年度の法人への寄付により12月に萩の杜、ケアホームみやた、ジョブサイトひむろ、ふれいすBe、ジョブサイトよど、児童サービスセンターanの6施設／事業所にAEDが設置されました（P27の表の最後）。参考のため、これまでの法人への寄付一覧を記載します

（棚山 記）

社会福祉法人北摂杉の子会後援会 法人への寄付金使途一覧

年 月	事業所	金 額	使 途	写 真
2001年4月	ジョブサイト ひむろ	200万円	開所、運転資金の一部	
2002年2月	ジョブサイト ひむろ	250万円	ジョブサイトひむろ北 開所、運転資金の一部	
2003年4月	法 人	250万円	支援費制度の変更による 運転資金の補填	
2004年6月	萩の杜	250万円	施設修繕費の一部	
2005年4月	法 人	50万円	資金繰り補填	
	ジョブサイト ひむろ	100万円	運営資金の一部	
	萩の杜	100万円	施設修繕費の一部	
2006年5月	ジョブサイト よど	250万円	開所、運転資金の一部	
2007年5月	萩の杜	230万円	空調の修繕費の一部	
2008年5月	法 人	220万円	法人発足10周年記念 事業に充当	
2009年6月	ジョブサイトよど	190万円	「よどのコロツケ」販売用の 店舗改装費用の一部	

年 月	事業所	金 額	使 途	写 真
2011年6月	法 人	70万円	各事業所の個別紹介ビデオを作製	
	ジョブサイトひむろ	100万円	老朽化したクリーニング設備の更新費用の一部	
2011年6月	法 人	145万円	萩の杜・ケアホームみやた・ジョブサイトひむろ・ぷれいすBe・ジョブサイトよど・anへのAED設置費用に充当	

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。お振込みは右記口座まで、もしくは、同封の振込用紙をご利用ください。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会 理事 中村節史 口座番号：5085555

□法人へのご寄附に感謝いたします。(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

真野利之 棚山薫晴 植松芳哲 松井邦彦 森田 弘 田口勝重 中村節史 福田啓子 神戸扶美枝 カトリック高槻教会
西原清二 東 敬司 板倉幸造 垣端敏栄 加藤 浩 木下直子 切石芳輝 副島雄彦 高原正義 田中 収 登間佐孝男
豊澤 進 新田利秀 福本 宏 三宅達也 森 泰雄 山口 博 山田健一 本射滋己 河端良一 松上利男
株式会社トランスポート 河端 不二園芸 山下 大阪自閉症支援センターを発展させる会オアシス

□後援会入会と会費納入(平成23年12月12日～平成24年2月14日)

赤尾浩子 植松小絢 植松小遙 植松信機 植松正機 植松芳哲 稲井由沙子 植松里枝 木下豊仁 木村弘信 砂子敦之
篠田正道 菅沼朋子 井上輔希子 田口敦夫 田口容子 田口和人 玉木和彦 田村和子 植松登志子 笠原隆之助 津田敬子
照内百子 永井昌明 中村義昭 並河 博 柏木美智恵 谷口智恵子 並河光子 軽込 昇 西井弘美 西井真弓 西井正美
西井多美 小林美代子 八田 隆 福田啓子 福田浩三 福田浩隆 前田浩子 中島江美子 中井喜代子 増淵紘子 萬代正人
宮本栄一 矢橋 文 矢橋知美 矢橋雍文 山口賢治 山口文子 山田綾子 山田博道 山本明彦 行成章子 矢橋美智子
上杉国彦 株式会社いずみ商事 代表取締役 久保常和 匿名2名

□後援会への寄付(平成23年12月12日～平成24年2月19日)

上杉国彦 橋川靖子 田寺文子 株式会社ネットワークビジネスソリューションズ 棚山薫晴

□家族会へのご寄附に感謝いたします。(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

植松芳哲 田口恵美子 本田英世 関山 森田 ほかに茨木園田店 ふくろうの森

□物品のご提供に感謝いたします。(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

吉岡茂子 鶴谷久子 藤岡紀子 今村圭子 白木 幸 岡田公子 南野 山本
不二園芸 株式会社テミル 株式会社WOW GROUP 中央フードサービス株式会社

□ボランティアに感謝いたします。(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

佐々木英世 坂井恵美子 草刈茂代 山田雅敏 前田龍秀 坂井真由美 吉中哲良 古川さやか

施設住所一覧

- **社会福祉法人北摂杉の子会 法人本部事務所**
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル402
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
[E-mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com
- **知的障害者生活施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
(短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **ケアホーム とんだ** (共同生活介護)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **ケアホーム みやた** (共同生活介護)
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活介護)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **ジョブサイトひむろ**
(生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**
(生活介護・自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
[E-mail] placebe@suginokokai.com
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
(発達障害者支援センター事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東3丁目18-12 イトウビル1F
TEL (06)6100-3003 FAX (06)6100-3004
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **大阪自閉症支援センター**
(法人独自の公益事業〈検査・相談・研修・本人支援・講師派遣〉)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL&FAX (06)4862-5454
[E-mail] o-center@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
[E-mail] an@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **自閉症療育センター will** (児童発達支援・放課後等
デイサービス・指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
[E-mail] will@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
[E-mail] link@suginokokai.com
- **ジョブサイトよど** (生活介護・就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目9-8 十三東ビル2F
TEL&FAX (06)6100-0150
[E-mail] jj@suginokokai.com

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 中村 節史
発行所 北摂杉の子会
住 所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1
発行日 2012年4月10日

定価100円